

# 令和8年度予算見積調書

課室名：文化財・博物館課  
担当名：史跡・埋蔵文化財担当  
内線：6988

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
N156	特別史跡埼玉古墳群保存活用事業費（内部管理費）	一般会計	教育費	社会教育費	文化財保護費	埼玉古墳群整備費	
事業期間	平成19年度～ 法 令	根 拠 文化財保護法	針路 分野施策	08 0803	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 文化芸術の振興	SDGsゴール SDGsターゲット	4 4-7

## 1 事業概要

本県を代表する文化遺産であり、学術上の価値が特に高く我が国文化の象徴である特別史跡に指定されている埼玉古墳群について、恒久的な保存を図り、未来の世代へ確実に継承するため、必要な整備を行う。

ア 保存活用協議会運営費 396千円  
イ 発掘調査費 3,868千円

## 2 事業主体及び負担区分

【文化庁】  
ア 文化財保護普及費補助金  
(国1/2・県1/2)  
イ 埋蔵文化財緊急調査費(国1/2・県1/2)

## 3 地方財政措置の状況

特別交付税  
重要文化財等の保存等に要する経費(埋蔵文化財の発掘調査等に係る経費)

## 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×3.1人=29,450千円

## 5 事業説明

### (1) 事業内容

ア 保存活用協議会運営費 396千円  
特別史跡埼玉古墳群の調査及び整備方針について指導・助言を得るために学識経験者により会議を開催する。  
イ 発掘調査費 3,868千円  
特別史跡埼玉古墳群の保存活用計画及び整備基本計画に基づき、発掘調査を実施する。

### (2) 事業計画

ア 保存活用協議会運営費  
調査及び整備方針について指導・助言を得るために、学識経験者による会議を開催する。  
イ 発掘調査費  
愛宕山古墳・二子山古墳の発掘調査を実施する。

### (3) 事業効果

先人から受け継いだ貴重な国民的財産である特別史跡埼玉古墳群を保存・整備し、その本質的価値を顕在化することで、次世代への確実な継承に向けて公開・活用を図ることができる。

予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	4,264	国庫支出金					2,132	569
前年額	3,695		1,847				1,848	

## 事業内訳書

事業名	特別史跡埼玉古墳群保存活用事業費（内部管理費）		
単位事業名	保存活用協議会運営費	予算額	396千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・社会教育費補助金	198	△10	【文化庁】 文化財保護普及費補助金 補助率1/2
一般財源	198	△11	
合計	396	△21	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	383	△21	保存活用協議会委員謝金 2回 文化庁調査官費用弁償 2回
需用費	13	0	協議会委員食糧費
合計	396	△21	

単位事業名	発掘調査費	予算額	3,868千円
-------	-------	-----	---------

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・社会教育費補助金	1,934	295	【文化庁】 文化財保護普及費補助金 補助率1/2
一般財源	1,934	295	
合計	3,868	590	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	100	50	発掘調査消耗品
委託料	2,596	545	発掘調査遺構測量 土壌分析
使用料及び賃借料	1,172	△5	掘調査測量器材借上代 発掘調査重機借上代
合計	3,868	590	